

新三重県立博物館（仮称）経営向上懇話会の設置について

平成23年10月25日
三 重 県

1. 目的

新県立博物館の効果的かつ効率的な経営に向けて、新県立博物館の活動と運営に係る方針や体制の構築に関する総合的・俯瞰的な助言をいただき、新県立博物館の事業推進に活かします。

また、必要に応じて、その時々の特定期間に対する意見もいただきます。

[主な内容（案）]

- ・ 評価・改善システムの構築に関すること
 - ・ 企業等との連携方策
 - ・ 開館に向けた広報戦略
- 等

2. 委員

県内外の大学、経済界、報道機関、文化・教育・NPO、博物館関係者等で構成します。

- | | |
|----------|------------------------|
| ○ 齋藤彰一氏 | 四日市商工会議所 会頭 |
| ○ 清水裕之氏 | 名古屋大学大学院環境学研究科 教授 |
| ○ 田部眞樹子氏 | 三重県子どもNPOサポートセンター 理事長 |
| ○ 土岐正紀氏 | 中日新聞社三重総局 局長 |
| ○ 中村忠明氏 | パラミタミュージアム 事務局長 |
| ○ 西岡慶子氏 | 株式会社光機械製作所 代表取締役社長 |
| ○ 山下治子氏 | 株式会社アム・プロモーション ミュゼ 編集長 |
| ○ 山田康彦氏 | 三重大学教育学部 教授 |

（8名：五十音順）

【参考（整備にあたっての7項目）】

- ① 総事業費を含めた支出の節減努力を不断に行う。段階的な増収も盛り込んだ収入計画を立案し、年間の運営費4億5千万円に対する県費負担について、2割程度削減すること
- ② 入館者増、企業からの寄付などの収入増を実現するため、広報体制を強化すること
- ③ 外部有識者による委員会（「経営向上委員会（仮称）」）を立ち上げ、第三者の視点から博物館事業の経営面などについて評価し、改善していくための仕組みを早期に導入すること
- ④ 多様なアイデアをもとに民間の参画による経営基盤の確立をはかること
- ⑤ 現博物館について県費負担をかけないような解決策を示すこと
- ⑥ 自然エネルギーの活用について、当初計画よりも一層拡大すること
- ⑦ 金銭価値では示せない社会への影響・効果を明示し、それらへの取組状況を確認するための評価と改善のしくみをつくること